

東邦大学医療センター大森病院

からだのとしょしつ だより

12号 2011/11/21



【資料の紹介】おすすめの一冊

『スーパー図解浮がん：不安が解消する情報と最新知識』
〈トップ専門医の「家庭の医学」シリーズ〉

齊藤光江監修 法研 2010年7月 191p.21cm.

- 監修者の齊藤光江医師は、「病気を知りたい」「何とかしたい」と思っ
てこの本を手にとったあなたは、すでに困難を乗り越える最初の一步を
踏み出していると、まず勇気をくれます。
- 病気に対する不安は、病気を知らないことが原因。この本では、乳が
んという病気、検査や診断、治療の実際、日常生活の質の向上などを、
わかりやすい図解と平易な本文で説明しています。
- 乳がん研究は進んでおり、多くの治療法があります。病気の基礎を理解
したうえで医師と相談し、ご自身にとってベストの治療法を選ぶための
参考にされてはいかがでしょうか。(10)

「からだのとしょしつ」の使い方—医師との話し合いのために

「からだのとしょしつ」の資料は、患者さんと医師との話し合いを、より具体的なものにするためにご利用いただくものです。

医師との話し合いの前に資料を読んで、ご自身の病気について知識を整理しておけば、医師の話がよく理解できます。

また、あらかじめ質問することをまとめておけば、聞き漏らすことも少なくなります。

「からだのとしょしつ」の利用者にうかがった利用法をご紹介します。参考になさってください。



資料の効果的な使い方：コピー

その1：医師と同じ本を読むためにコピーをとる

- ・ご家族が入院中のAさんは、よく「からだのとしょしつ」を利用されます。
- ・家族の病状と似た症例が載っている本を選んで、読み始めましたが、意味の分からない言葉や疑問が出てきます。
- ・そこで、その部分のコピーを2部取りました。
- ・1部は担当医師に渡して読んでいただくため、もう1部は自宅に持ち帰って、ゆっくり時間をかけて読むためです。
- ・面談の時に、そのコピーを見ながら、わからない部分を医師に説明していただき、納得できました。

その2：医師に確認するためにコピーをとる

- ・手術後で退院間近のBさんは、自宅でできる体操が載っている本を選び、そのページのコピーを取りました。
- ・担当医師に読んでいただき、退院後自宅で、この体操をしてもかまわないかを確認するためです。
- ・医師から、お勧めの体操、無理なので避けたほうが良い体操を教えてください、安心しました。



News -柳田邦男さん来訪-

さる10月1日(土)、作家の柳田邦男さんに「からだのとしょしつ」をご覧いただきました。

柳田さんは、早くから、患者と医療者双方が歩み寄ってコミュニケーション不足を解消し、納得のいく医療を実現することを提唱されていました。

次のような感想をいただきました。

「からだのとしょしつのゆったりとしたスペースは、患者さんや家族の方々が、ゆっくりと病気について詳しく調べたり、考えたりするうえで、とてもふさわしい空間になっていると感じました。」

また、常駐する司書やボランティアについて、「利用者が必要な情報にアクセスするうえで、不可欠の存在だと思います。」

◆なのはな文庫のご案内◆

◇なのはな文庫は、毎週火曜日の午後、おもに病棟のデイルームを巡回して本棚の本の整理をしたり、新しい本を補充するボランティア活動です。

◇一人でも多くの患者さんが、本を読まれることで日々の時間に安らぎと癒しを感じていただけたらと思って活動しています。

◇大田区立図書館からリサイクル本をいただいています。

◆なのはな文庫はこちらで活動しています◆

- 外来 1号館1階：小児医療センター/産科・婦人科
1号館2階：メンタルヘルスセンター/皮膚科
2号館1階：整形外科
2号館2階：糖尿病・代謝・内分泌センターほか
- 病棟 1号館4階
2号館4階東/5階～7階/8階西/9階西
5号館4階/5階

編集・発行：からだのとしょしつ

東邦大学医療センター大森病院 2号館3階
開室日時：9:30-16:30 土・日・祭日、年末年始はお休みです。
WEB版「からだのとしょしつ」でも資料と探し方のご案内をしています。
<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>